

特産品相互取扱協定 自治体紹介

本市と特産品協定を締結している自治体を
紹介します。 問合先 農林水産課



▶平成29年3月18日、
小泉 一成 成田市長(右)
と協定を締結

②1 千葉県成田市

特産品相互取扱協定締結式



成田市の特産品



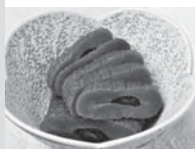
米



日本酒



レンコン



漬物



うなぎ



羊かん・和菓子



落花生



甘しょ



栗

- 面積：213.84km²
- 人口：133,082人・61,475世帯(平成30年1月31日現在)
- 市の花：あじさい ●市の木：梅

成田市は、千葉県の北部中央に位置しています。昭和29年3月31日、町村合併促進法によって1町6ヵ村が合併して成田市が誕生し、さらに、平成18年3月27日、香取郡下総町、同郡大栄町の2町と合併し、人口約12万人の新生・成田市となり、中核都市として飛躍を果たしています。日本の空の表玄関、成田国際空港があり、市の中心部である成田地区は千年以上の歴史がある成田山新勝寺の門前町として栄え、印旛沼をはじめ豊かな水と緑にも恵まれています。

特産品としては、落花生、米、甘しょ、にんじん、だいこん、里芋などがあり、中でも甘しょは県内1位、全国でも有数の収穫量を誇り、そのブランド化を進めています。また成田山参道沿いには、約60もの有名なうなぎ料理店があります。

成田市は、「住んでよし 働いてよし 訪れてよしの生涯を完結できる空の港 まち なりた」という将来都市像の実現を目指し、未来を見据えた「次世代に誇れるまちづくり」に取り組んでいます。



- 面積：35.76km²
- 人口：241,485人・100,866世帯(平成30年3月1日現在)
- 市の花：つつじ ●市の木：アカシア ●市の鳥：シジユウカラ

茅ヶ崎市は神奈川県の中南部に位置し、東京から50キロメートル余り、温暖な気候、美しい海と緑豊かな丘陵地に恵まれた、人口24万人超の住宅都市です。昭和22年10月、神奈川県下で8番目の市として市制を施行し、平成29年で市制施行70周年を迎えました。

相模湾沿岸に面し、観光都市の側面も併せ持ち、たくさん海水浴客や釣り人でにぎわいます。沖には「烏帽子岩」が浮かび、西には富士山、東には江の島を望むことができます。

温暖な気候のため、市内では多品種の農産物が栽培されるほか、畜産業も営まれ、多様な産業が育まれています。

5月から10月の期間、見た目にも涼しいアロハシャツ姿で「アロハビズ」を推進し、まちなかでもアロハシャツ姿の市民を多く見かけます。ホノルル市・郡との姉妹都市交流やイベント「アロハマーケット」の開催など、市全体としても南国の穏やかな雰囲気が醸成されています。

「海と太陽とみどりの中でひとが輝き まちが輝く 湘南・茅ヶ崎」を目指し、豊かで魅力あるまちづくりに取り組んでいます。



②2 神奈川県茅ヶ崎市

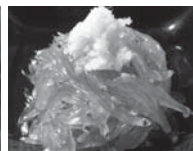
▶平成29年3月30日、
服部信明 茅ヶ崎市長
(右)と協定を締結



茅ヶ崎市の特産品



日本酒



湘南しらす



湘南ポモロン



タコせんべい



えぼし麻呂



茅ヶ崎メンチ



せんべい



ちがさき牛カレー



アイスクリーム